

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成27年度～平成31年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひだか） 日高森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、日高森林計画区のうち、沙流川流域の日高町及び平取町に所在する約101.4千haの国有林を対象としている。</p> <p>当計画区内の森林は、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・イタヤカエデ等が混交する天然林を主体として、一部トドマツ・カラマツ等の人工林で構成されている。</p> <p>また、この地域にはアイヌの人たちが多く集住し、古くから森林との関わりの深い独自の文化が伝承されている。</p> <p>本地域の大半が水源かん養保安林に指定され、水源涵養機能の発揮が期待されるとともに、沙流川中流域の右岸及び下流域の両岸周辺、宿ま別川の両岸、千呂露川・パンケヌーシ川周辺は、土砂流出防備保安林に指定され、また、傾斜が急峻な地形を呈するなど、山地災害防止機能等の発揮が期待されているため、これらの地域を主に「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分し、森林整備及び治山事業の計画的な実施により、災害に強い森林づくりに努めることとする。</p> <p>また、芽室岳及び戸蔦別岳等の稜線部は豊かな自然環境を有していることから、日高山脈襟裳国定公園、日高山脈森林生態系保護地域に指定され、自然環境の維持を図ることを期待されているため、主に「自然維持タイプ」に区分し管理経営を行う。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に貢献するため、積極的に間伐を推進するとともに、針広混交林化・複層林化等を促進するため、育成複層林へ導くための施業等を推進し、健全で多様な森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備を進める。この場合、土砂の流出、水質汚濁の防止等に配慮し、森林生態系の保全に努めるものとする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">364 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,961 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>47.8 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.6 Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>3,197,154 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	364 ha			保育面積	6,961 ha		路網整備	開設延長	47.8 Km			改良延長	2.6 Km	総事業費			3,197,154 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	364 ha																				
		保育面積	6,961 ha																				
	路網整備	開設延長	47.8 Km																				
		改良延長	2.6 Km																				
総事業費			3,197,154 千円																				
費用対効果分析	総便益（B）	14,396,238 千円																					
	総費用（C）	3,645,630 千円																					
	分析結果（B/C）	3.95																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、傾斜が急峻な地形であることから、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、主に急峻な日高山脈の上流域に位置しており、地域の水源として基幹産業である農業や沿岸資源に依存した水産業の振興に資する役割を担っているため、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

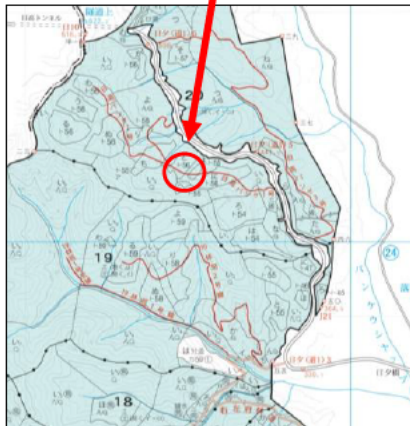
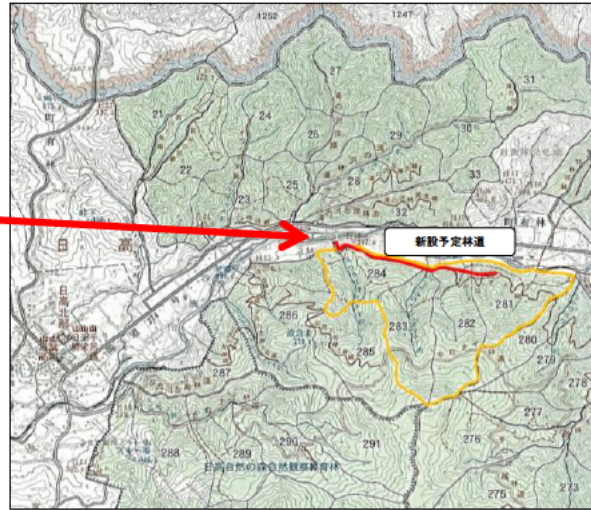
便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：日高森林計画区

都道府県名：北海道
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,962,414	
	流域貯水便益	863,970	
	水質浄化便益	1,898,007	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,199,709	
環境保全便益	炭素固定便益	715,131	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,000,821	
	木材利用増進便益	653,123	
	木材生産確保・増進便益	2,512,474	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	79,277	
	森林整備促進便益	511,312	
総 便 益 (B)		14,396,238	
総 費 用 (C)		3,645,630	
費用便益比	B÷C=		3.95

日高森林計画区(日高北部署)
森林環境保全整備事業



※写真はイメージとなります。